

仏前式結婚式の実例調査

武井 謙悟

1.はじめに

日本における結婚式の形式として、教会式・神前式・仏前式・人前式の4形式が挙げられることが多い（宮田 1999;105、ハナユメ 2023）。仏教の結婚式である「仏前式」は代表的な形式に挙げられていながらも、「妻帯問題」を扱った研究（中村 2011、川橋 2012）や子育て体験記（池口 2024）など僧侶の「結婚問題」が話題になる一方で、一部の歴史的展開を論じた成果（武井 2018）を除き研究対象となることが稀である。

その一因として、アンケート調査で仏前式に関しては実施割合が1%未満という結果（リクルートブライダル総研 2024;118）もあり、事例が多くない点が挙げられる。しかし、情報や実施数が少ないと言われながらも、仏前式の利用者も存在している。かれらは、どのような理由から仏前式の結婚式を選択し、どのような寺院が受け入れたのか。仏前式の事例を蒐集し、検討することは結婚式全体の動向を知る上で重要ではないか。こうした問題意識のもと筆者は、仏前式の結婚式を見学し、担当者や新郎新婦へインタビュー調査を行った。本稿ではまず、仏前式の結婚式を分類した上で、インタビュー調査の内容を報告したい。

2.仏前式結婚式のパターン

仏前式は仏教とかかわりのある結婚式であるが、大別すると3つのパターンが考えられる。①常時仏前式結婚式を受け入れる体制が整っていないが、結婚する僧侶や檀信徒と関係のある寺院（住職予定寺院・檀家として所属する寺院・修行寺院等）で実施する場合、②インターネット上などで仏前式結婚式を実施していることを明示しており、実施希望者への受け入れ体制が整っている寺院で実施する場合、③ホテルや仏教系の大学などで実施する場合、である。

2024年度の調査では、①と②で1件ずつ実際の結婚式を見学する機会を得た。①では新郎新婦、②では結婚式担当の寺院僧侶とウエディングプランナーにインタビューを行った。本稿ではそれらの内容を中心に報告する。なお、③については、1987（昭和62）年6月に、浄土宗東京教区青年会が、都内のホテル・会館・公共施設等、結婚式場100軒に対し仏前式の結婚式が可能かどうか電話調査を行い、実施可能38先、実施不可能62先という結果を報告している（浄土宗東京区青年会 1988;121～128）。こちらも更新が必要と思われるが、別の機会に調査したい。

3.静岡県湖西市曹洞宗寺院・隣海院

2024（令和6）年10月19日（土）・先勝、10時より開式した結婚式は、会場でもある寺

院の後継者である副住職の新郎 G 氏と、新郎の前勤務先で出会った新婦 S 氏とのパターン①の式である。

式次第は、入場・開式の辞・献香三拝・啓白文奉読・灌頂洒水・寿珠授与・指輪交換・三婦礼文・授戒・盃事・誓いのことば・式師示訓・普回向・普同三拝・開式の辞・退場・記念撮影であった。式を司る式師は、会場の寺院の本寺住職が務めた。

当日までの準備は、新郎を中心に行われた。式師への拝請（礼拝懇請の意。依頼する際の挨拶）にはじまり、当役の決定、器物の用意・点検、紅白幕を張る、椅子を並べての会場設営などが大変であったという。しかし、新郎は、これまで同安居（同時期に修行していた仲間）の結婚式の手伝いをしていたこともあり、イメージはできていたと述懐している。

一方で新婦は、式で交換する数珠の選択や、新婦の衣装の検討を行っている。色合いを検討する際、胸元に差し込む筥迫や扇子の色を、朱色系にしようか迷ったが、最終的に白無垢と綿帽子と合わせた全て真っ白のコーディネートに決定した。新婦は、「お寺の本堂に幕や花などの色があったので、真っ白の白無垢がとても映えた」と満足していた。



図1 2024年10月19日 結婚式前の荘厳

式当日は、親族や近親者のみで執り行う予定であったが、披露宴招待者に自由参加として呼びかけたところ76名の参加者があった。式は、式師と同安居9名の協力によって滞りなく進み、新婦が「身近な人たちに手伝ってもらって式を挙げられたことで、心温まる式」になったと述べるように、かれらの協力を夫婦ともに感謝している。なお、新婦は元々、キリ

スト教に馴染みのない人が教会の神父の前で愛を誓うことに違和感を持つことがあった。幼い頃から身近にある仏教の形で式を挙げることは、自分にとって納得感の持てる形式であったという。ただ、式前日に予行練習したものの、作法や式の中で行う事柄については無知だったので、「どういうことをやるんだろう」と思っていた。しかし、嫁ぎ先の寺院で挙げられたので、寺院と密接にあった新郎の生活や僧侶としての仕事、代々続く家族、お檀家さんとの関係などに思いを馳せて臨むことができ、とても良かったという。

それに対して新郎は出自もあり、もともと仏前式で結婚式を行いたいと考えていたが、「仏前結婚式を見たことがないという方や、普段よりお寺には縁遠い方など、たくさんの方に見てもらうことができ本当に良かった」と述べている。



図2 2024年10月19日 結婚式当日の新郎新婦・式師

4.長野県長野市天台宗寺院・善光寺大勧進

パターン②の仏前式結婚式として善光寺大勧進の取り組みを挙げる。長野県長野市元善町にある定額山善光寺は、一光三尊阿弥陀如来（善光寺如来）を本尊とする無宗派の寺院である。現在その護持運営は「大勧進」を本坊とする天台宗と、「大本願」を本坊とする浄土宗の両宗派によって行われている。結婚式については、大勧進・大本願ともに寺院の公式ホームページ上で告知を行っているが、大勧進はYouTubeでの動画配信や結婚式場検索サイトでも情報を掲載しており、結婚式推進に力を入れている。

2025（令和7）年2月25日（火）13時、結婚式を担当する大勧進法務部長で僧侶のD氏

と大勸進ウエディングプランナーとしてブライダル事業会社から出向している I 氏に大勸進での結婚式について説明を伺った。

D 氏は約 20 年間善光寺大勸進に所属している。同寺に 40 年以上いた D 氏の先輩からの情報によれば、その先輩が来る 10 年前（1960 年）くらいから大勸進で結婚式が行われていたという。さらにその前より、善光寺一山の僧侶が結婚する際に結婚式が行われていたらしいが、一般の希望者向けに実施しはじめたのは 1960 年代からであった。

コロナ禍前のピーク時には年間 120 件、現在は年間 50 件ほど行われている。季節は桜・紅葉の時期が人気であり、土日の大安は好まれる。ただし、寺院の行事がある時はそちらが優先される。

善光寺の名前は知られており、一時ゼクシィとウエディングパークで広告を掲載したこともあり、選択の候補に入っている。かつては、挙式のみ行い、近隣で有名な結婚式会場「藤屋御本陣」や宿泊施設など披露宴を行うケースも多かった。そうしたなか、6 年前より披露宴も大勸進で行うプランを開始した。50 組のうちの 15 組程度は大勸進で披露宴を行っている。

利用者の特徴として、寺院関係者、市内の方を中心に・県外（出身が長野）の方も多い。夫婦のうちどちらか一方が外国人であるケースが年に数組ある。布教活動として、結婚式をきっかけとして、初まいりや七五三、厄除なども勧めている。大勸進結婚式のパンフレットでも宣伝し、関係性を継続するような努力をしている。

かつては僧侶や大勸進のスタッフのみでブライダル事業を推進していたが、現在は、ブライダル会社に専属で依頼している。委託先の社員である I 氏は、教会式のチャペルウエディングが中心のゲストハウスで結婚式の仕事をしていたが、2 年前から大勸進担当となった。コロナ後に配属されたため、大勸進で担当した式は小規模なものが多い。傾向としては、新郎新婦やご家族のなかに人柄のよい方が多く、「暖かみがある結婚式が多く、やりがいがある」と I 氏は感じているという。ブライダルフェアについて、現在は I 氏が一手に引き受けている。2025 年 2 月は 5 組の利用があり、挙式は大勸進でと決めて来る方が多い。料金プランは、挙式に関しては利用人数ではなく、会場の大きさで変化する。基本は僧侶 5 名体制で行い、最大 1 日 4 組提供可能である。

2025 年より、新たにオープンや食洗機を導入した大勸進内の厨房で、外部のシェフが調理した料理を提供するプランを開始した。これまで 39 の宿坊のうち、結婚式の料理を 2～3 坊で対応してもらっていたが、宿坊側の料理提供が大変であるため、原則受け付けていない。なお、精進料理を希望する利用者には宿坊を提案している。

同年 3 月 12 日（水）・友引、11 時から行われた結婚式は、上記の新プラン初利用者であった。長野出身で東京在住の新婦とフランス人の新郎、両者の親族参加で行われた式は、新郎新婦入場・慶祝戒師入堂・勸請・啓白・洒水・懺悔文・三歸三竟・念珠授与・三々九度・親族固め盃・聖句授与・証明授与・宣誓・法樂般若心経・結婚者献香・円成宣言・慶祝戒師退堂という式次第であった（なお、乳幼児がいるため、後日感想等を伺う予定である）。

当日は、結婚式を専門的に撮るカメラマンが式の様子を撮影していたが、大勸進では着付けを含め美容を総合的に提供できる衣装屋2社と提携している。

D 氏によれば、このような提携関係は良好であり、さらに善光寺の場合は知名度が高いので、工夫次第では結婚式利用者が増えると考えている。インスタグラムでの広告を 2025 年 3 月から開始するなど SNS にも今後力をいれていく。結婚式になると仏教のイメージが少なくなるが、初まいり、七五三も含め、祝い事も仏教が出来ることを仏教界全体で周知させることが重要ではないか、と最後に D 氏は述べた。



図 3 フルコースプランの会場



図 4 2025 年 3 月 12 日 大勸進結婚式の様子

5.おわりに

今年度の調査では、以上 2 件の寺院での結婚式についての意見を伺うことができた。僧侶の意見としては、パターン①②ともに寺院を暗いイメージのみではない場所としたいという点は共通していた。また②については、利用者の選択理由や感想、寺院側の工夫にどのような特徴が見られるかといった点の調査も次年度以降の課題としたい。

【参考文献、参考ホームページ】

- ・(宮田 1999) 宮田登『冠婚葬祭』岩波新書、1999 年
- ・(中村 2011) 中村生雄『肉食妻帯考——日本仏教の発生』青土社、2011 年
- ・(川橋 2012) 川橋範子『妻帯仏教の民族誌——ジェンダー宗教学からのアプローチ』人文書院、2012 年
- ・(武井 2017) 武井謙悟「明治の仏教者と仏前結婚式」『駒澤大学大学院仏教学研究會年報』59 号、2017 年 200～159 頁。
- ・(ハナユメ 2023) ハナユメ「【完全版】結婚式の種類や特徴を解説！定番からトレンドまで一挙紹介」
2023 年 3 月 17 日、<https://hana-yume.net/howto/wedding-ceremony-type/>
- ・(池口 2024) 池口龍法『住職はシングルファザー』新潮新書、2024 年
- ・(リクルートブライダル総研 2024) リクルートブライダル総研『ゼクシィ 結婚トレンド調査 2024(首都圏)』2024 年 10 月 25 日、https://souken.zexy.net/research_news/trend.html
- ・(浄土宗東京区青年会 1988) 浄土宗東京区青年会『仏式結婚』浄土宗東京区青年会、1988 年
- ・善光寺大勧進ホームページ「仏前結婚式」<https://daikanjin.jp/wedding/gaiyou>
- ・善光寺大本願ホームページ「結婚式」<https://daihongan.or.jp/wedding/>
- ・ウェディングパーク「善光寺大勧進」<https://www.weddingpark.net/0000213c/>
- ・YouTube「善光寺大勧進結婚式__Digest」2016 年 10 月 3 日、
<https://youtu.be/fbb07omW3w4>
- ・YouTube「善光寺大勧進結婚式__Daikanjin Wedding Full Movie」2020 年 8 月 21 日、
<https://youtu.be/2yuerg9XOtc>